

第4章. 工業用水道編

1 事業の経緯

昭和59年12月	通商産業省に「富士町工業用水道事業」として事業届を提出
昭和60年8月	供給開始
平成19年2月	取水井戸の水位低下により送水停止。その後の調査により、取水井戸の最大可能揚水量が、操業当時の1,800m ³ /日から、352m ³ /日～267m ³ /日に低下していることが判明。これ以降、井戸水位低下による送水停止は起こっていない。
平成24年2月	配水池を新築移転し、有効貯水量を100m ³ から300m ³ に増加
平成27年4月	市長部局から佐賀市上下水道局へ事業移管
平成31年1月	配水池に加圧ポンプを設置

2 現在の給水状況

○給水能力 1,000m³/日

○基本料金 30円/m³ ※超過料金(基本使用水量超過分)40円/m³

○供給先企業 3社

	企業名	基本使用(契約)水量	製造品	工業用水利用目的
1	三菱ガス化学(株)	120.0m ³ /日	超純水	製造品の原料
2	岩谷瓦斯(株)	100.8m ³ /日	水素ガス	製造品の原料
3	(株)プロセス・ラボ・ミクロン	100.0m ³ /日	メタルマスク	製造品の製造、機械の冷却等

○給水量

事項	単位	H30年度	R元年度	前年度 対比	R2年度	前年度 対比
年間給水量	m ³	50,447	44,236	87.7	44,979	101.7
一日平均給水量	〃	139	121	87.1	123	101.7

3 施設の所在地

施設の名称	所在地	施設規模等
富士工業用水道 浄水場	佐賀市富士町大字下熊川 98番地	水 源:表層地下水(浅井戸 8.38m) 取水能力:1,075m ³ /日
富士工業用水道 配水池	佐賀市富士町大字上熊川 690番地29	配水池容量:RC2槽式 有効容量300m ³

4 施設の位置図



5 浄水場施設

富士工業用水道 浄水場

主要施設		規格・規模			
取水施設	取水井	RC造り	2.6W×2.6L×2.0H(浅井戸)	取水井深度 H=8.38m	
	揚水管	SGP	φ80mm×7.827m(有効長)		
	取水ポンプ	水中ポンプ	φ80mm×2段×3.7kw	Q=1,075m ³ /日 H=18.5m	2台
浄水施設	着水池	RC造り	1.2m×0.9m×2.0m	有効容量 2.16m ³	1池
	薬品混和池	RC造り	1.2m×1.2m×1.7m	有効容量 2.45m ³	1池
	フロック形成池	RC造り	2.0m×2.0m×2.0m	2段 有効容量 13.6m ³	2池
	薬品沈殿池	RC造り	2.0m×5.5m×3.2m	有効容量 35.2m ³	2池
	送水ポンプ井	RC造り	5.0m×4.0m×2.3m	有効容量 46.0m ³	1池
	ポンプ薬注室	RC造り	5.0m×7.0m	面積 35m ²	1棟
	電気計装設備	鋼板製屋内自立型			1式
送水施設	送水ポンプ	多段渦巻ポンプ(フライホイール付) φ80×0.7m ³ /分×70m×15kw			2台
	送水管	ダクタイル鉄管・水道用塗覆装鋼管・硬質塩化ビニル管 φ200・φ150 L=761m			

富士工業用水道 配水池

主要施設		規格・規模			
配水施設	配水池	RC造り	10m×5m×3m	2槽式 有効容量 300m ³	1池
	加圧ポンプ室	RC造り	3.0m×2.0m	面積 6m ²	1棟
	加圧ポンプ	加圧給水ポンプユニット	φ65-50×477m ³ /分×15m×3.7kW×2基		1台